

JICA食と農の協働プラットフォーム (JiPFA)

第7回農業機械化分科会JiPFA

日・アフリカ農業イノベーションセンター (AFICAT) 設立・稼働と  
タンザニア国の農業機械化推進にかかるオンラインセミナー

2021年11月18日 (木)

独立行政法人国際協力機構 (Japan International Cooperation Agency: JICA)

アフリカ地域先進農業技術の導入促進に係る基礎情報収集・確認調査

(株) かいほつマネジメント・コンサルティング

- 1) AFICAT計画の概要（全体）
- 2) タンザニアの農業の概要
- 3) タンザニアにおけるAFICAT計画

日本の農業機械でアフリカ進出を！



# 1) AFICAT計画の概要 目的、実施対象国、期間

## ■ 背景

- ・ TICAD7（2019年8月）で「アフリカ農業イノベーション・プラットフォーム構想」が発表され、サブサハラアフリカ（SSA）にて「先進農業技術の導入」を推進することとなった。
- ・ その実現のためJICAにより「日・アフリカ農業イノベーションセンター（AFICAT：Africa Field Innovation Center for Agricultural Technology）」設置にかかる調査を実施中。



## ■ AFICAT計画の目的

- ・ 日アフリカの官民連携により、SSAにおいて先進的な技術や農業機械化の推進を支援する。
- ・ 本邦メーカーのSSA進出の足掛かりとする。



## ■ 対象となる農業機械・実施対象国

主に稲作用の農業機械を対象に、東アフリカ1カ国（タンザニア）、西アフリカ3カ国（コートジボワール／ナイジェリア／ガーナ）の4カ国でAFICAT計画を実施する予定。その後周辺国に展開する。

※ケニアは引き続きAFICAT設置を調整予定。



## ■ 実施期間

2022年初旬～

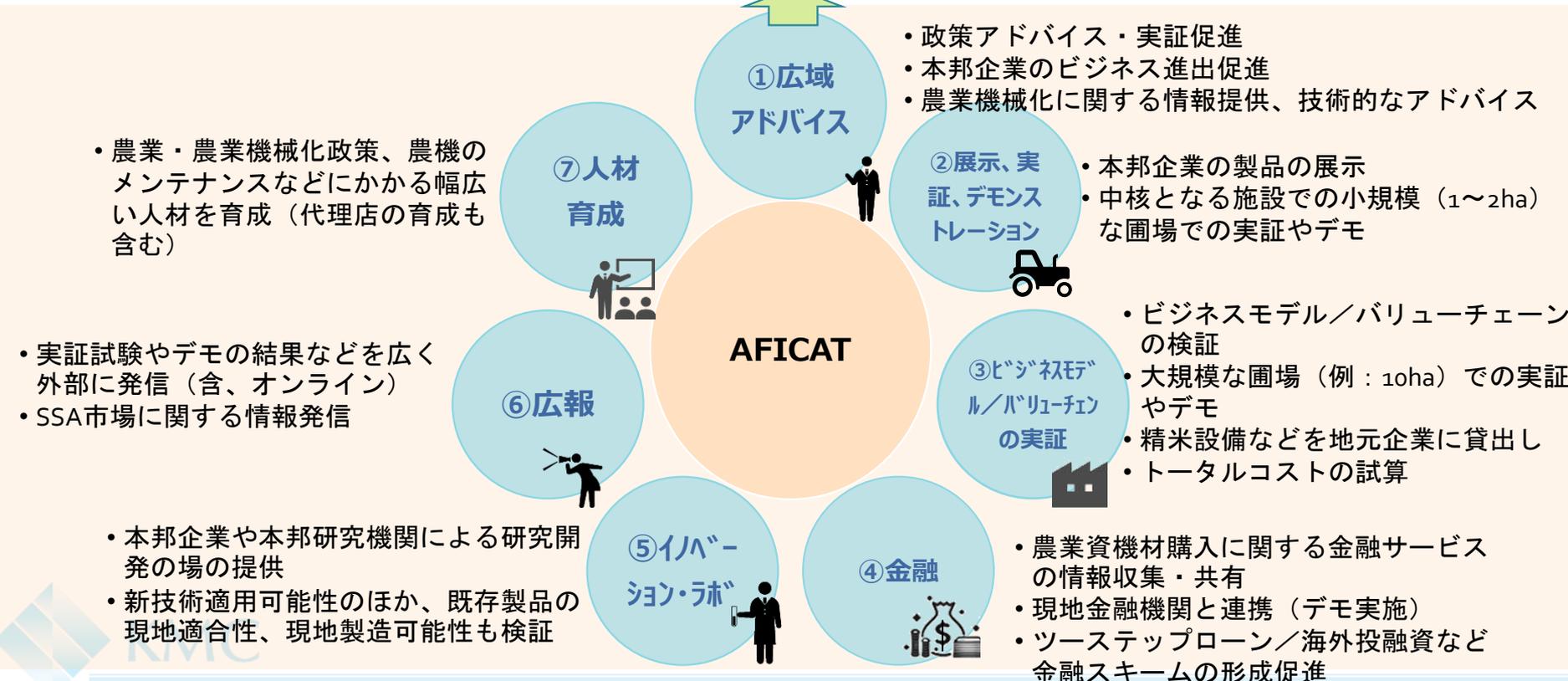
# 1) AFICAT計画の概要 AFICATの狙いと7つの機能（案）

「日・アフリカ農業イノベーションセンター」  
 (AFICAT : Africa Field Innovation Center for Agricultural Technology)

- ※既存の施設・組織に機能を付加する。
- ※本調査はコメ関連農機を中心に調査するが、AFICATは農業資材や、コメ以外の農産物も幅広くカバーする。

SSAにおける農業生産性向上（農業機械化を含む）、農産物の品質向上、農民のエンパワメント

↑  
 本邦企業のSSA進出の足掛かり



# 1) AFICAT計画の概要 **AFICAT 設置方針（案）**

## AFICAT設置に向けた基本方針（案）

- (1) AFICATは**東アフリカ**、**西アフリカ**の両方で稼働を開始する。
- (2) 2022年8月頃にTICAD8が開催されることを想定し、それまでに試行的にAFICATを稼働させる。具体的には、**現地での農業機械受入れや実証を支援するための人員をJICAで配置**する。
- (3) 活動は地域、連携機関を特定し、小規模に始める。その後、本邦企業の意向や現地の状況に合わせて、段階的に活動範囲を広げていく。
- (4) JICA筑波の圃場や施設の活用、JICA筑波の研修事業やJICA民間連携事業との連携も検討する。



# 1) AFICAT計画の概要 各関係者からの投入（案）

		AFICAT設置国 政府／民間セクター	日本政府／JICA	本邦企業
1	土地、建物	◎	○ 建物のリハビリ、セン ターおよび周辺の圃場 整備	-
2	人員	◎	△	○ 企業から技術者などの 派遣
3	農業機械	○ コメ生産などに必要な 農業機械など	△	◎ 展示、実証、デモ用の 本邦企業の製品
4	農業資材	○ コメ生産などに必要な 肥料などの投入材	△	◎ 展示、実証、デモ用の 本邦企業の製品
5	運営費（燃料代、施 設の維持管理費な ど）	◎	△	

◎: 主に負担

○: 一部負担

△: AFICATが全面的に稼働するまでなど、一定期間負担

# 2) タンザニアの農業の概要

## タンザニアの概要



- 人口 約5,800万人(2019年:世銀)
  - 面積 94.5万km<sup>2</sup>(日本の約2.5倍)
  - 首都 ドドマ(法律上の首都であり、国会議事堂が置かれている)
  - 言語 スワヒリ語(国語)、英語(公用語)
  - 宗教 イスラム教(約40%)、キリスト教(約40%)、土着宗教(約20%)
  - 主要産業 農林水産(GDPの28.2%)、鉱業・製造・建設等(同26.9%)、サービス(同37%)
  - GDP 632億米ドル(世銀:2019年)
  - 1人当たりGNI 1,080米ドル(世銀:2019年)
- 出所: <https://www.mofa.go.jp/mofaj/area/ghana/data.html>



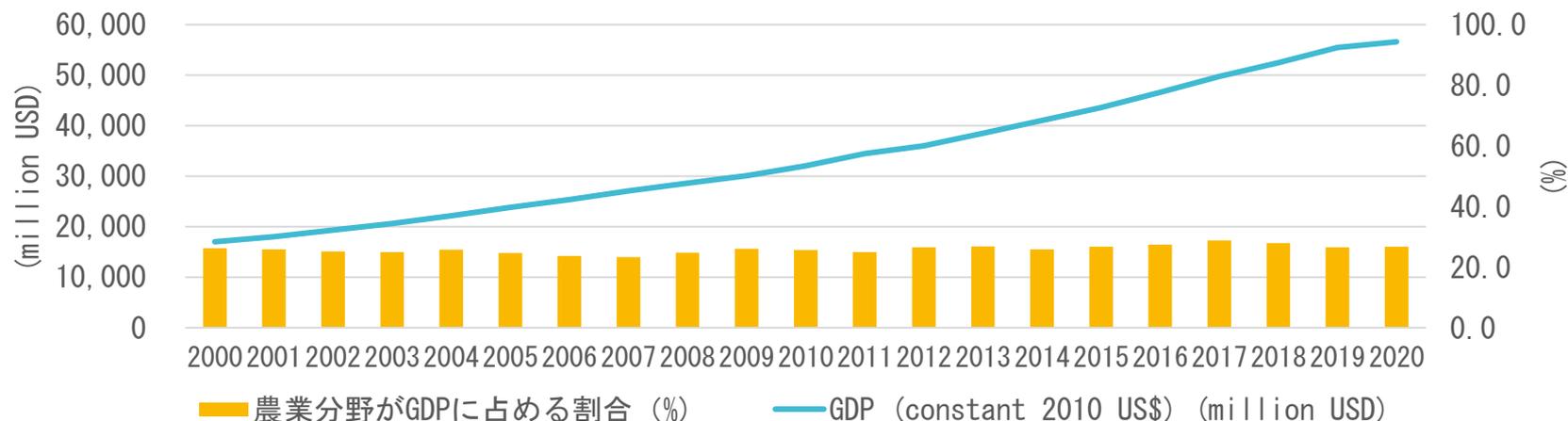
## 2) タンザニアの農業の概要

### 主要作物ほか



#### <農業の位置づけ>

- GDPに占める農業分野の割合は26.7%と依然として主要産業のひとつである。
- 2000年から2020年にかけてGDP成長率は年平均6.1%、その間実質GDP\*がUSD 170億からUSD 566億へと約3.3倍に増えたことを踏まえると、農業分野はタンザニアの高度成長を下支えしてきたといえる。（\* GDP (constant 2010 US\$）
- 農業に従事する労働者の割合をみても、1991年の84.67%から2019年の65.9%と減少はしているものの、いまだに人口の多くが農業に従事している。



#### <主要作物（食用農作物）>

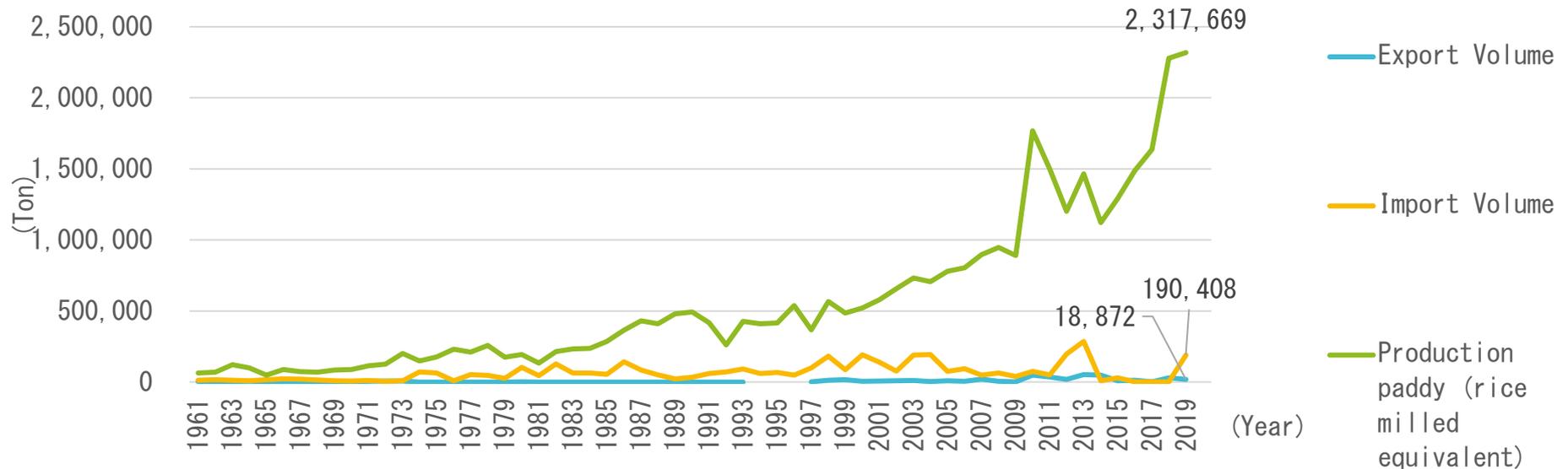
- キャッサバ（818万トン）（世界第10位）
- メイズ（565万トン）（世界第23位）
- サツマイモ（392万トン）（世界第4位）
- サトウキビ（359万トン）
- コメ（粳）（347万トン）（世界第21位）

## 2) タンザニアの農業の概要

### コメ生産

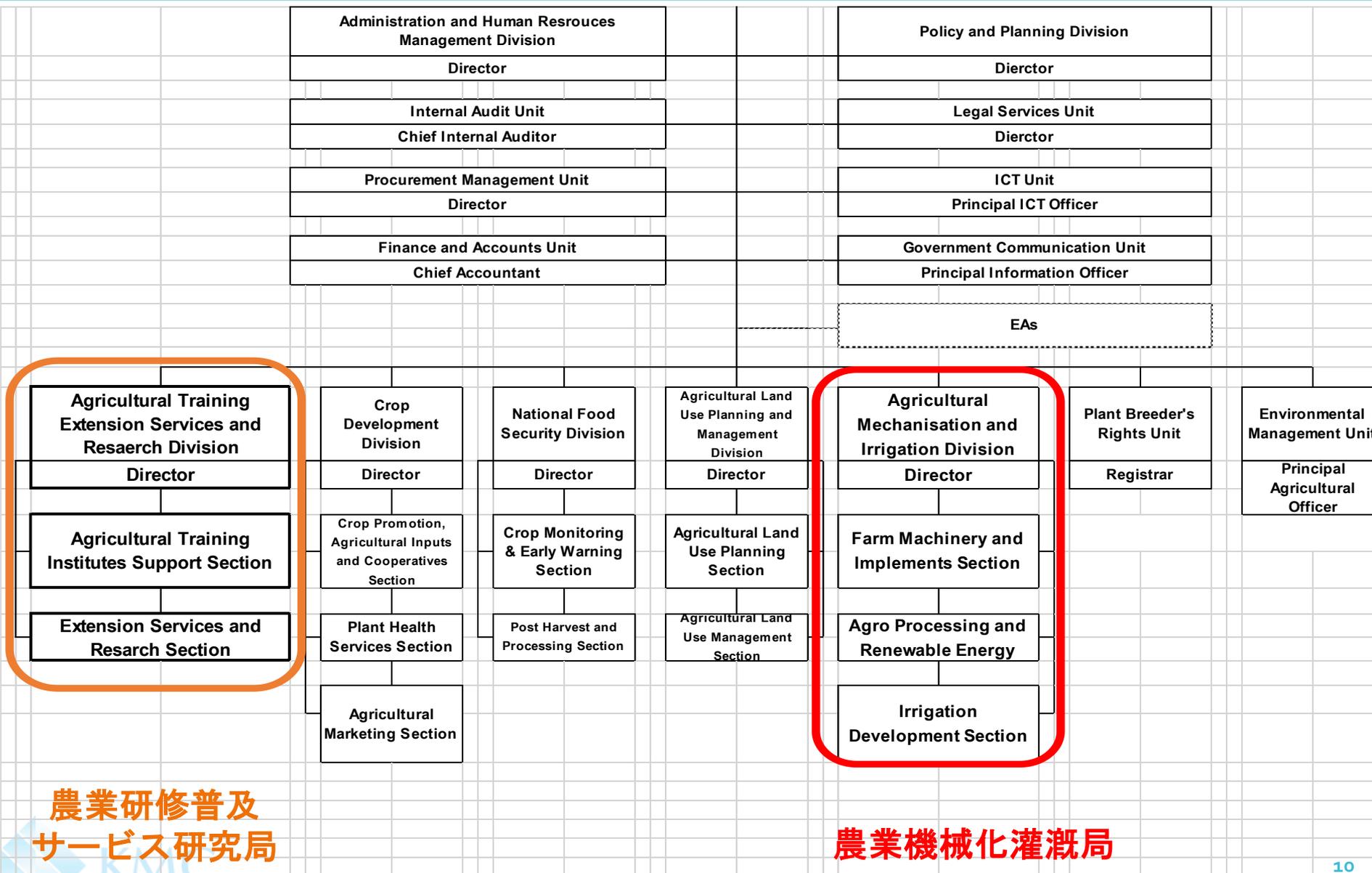


- タンザニアでコメはメイズにつぐ主要穀物であり、その生産量は2009年から2019年の間に年89万トンから232万トン（白米換算）に急増し、SSAではナイジェリア、マダガスカルに次ぐコメ生産国となっている。
- すでに国内需要は満たしており、国家稲作開発戦略（National Rice Development Strategy : NRDS）2では東アフリカ地域内の自給に貢献することを目指している。



# 2) タンザニアの農業の概要

## 政府機関



農業研修普及  
サービス研究局

農業機械化灌漑局

# 3) タンザニアにおけるAFICAT計画



AFICATの拠点：KATC/ローアモシ灌漑地区（KATCについて）



キリマンジャロ農業研修センター  
(Kilimanjaro Agricultural Training Center : KATC)

- 農業省研修センター（Ministry of Agriculture Training Center : MATI）の1つ。
- キリマンジャロ国際空港から車で1.5時間程度と比較的アクセスが良い。
- 1990年代以降、JICAは支援を継続しており、2019年に終了したコメ振興支援計画プロジェクト（TANRICE 2）の活動拠点であり、かつ後続プロジェクトでも拠点となる予定（KATCを中心に国内にある研修センターで活動予定）。
- 長年の支援により、農機、人材、圃場などリソースが豊富に揃っている。



# 3) タンザニアにおけるAFICAT計画



AFICATの拠点：KATC/ローアモシ灌漑地区（ローアモシ灌漑地区について）

## ローアモシ灌漑地区

- KATCに隣接。灌漑面積は2,300haで、うち1,100haが稲作（lowland）、残りは畑作。畑作地はメイズ、ひまわりなど様々な作物が栽培されている。稲作の水が十分にある時には畑作の方にも水を送るが、ない時は水を送らない。その時期は何も栽培していない。最近住宅も建てられており、浅井戸で灌漑する農家もいる。
- 一筆0.3ha。3,700農家（メンバー）。
- 灌漑地区内に小規模精米所が点在している。



# 3) タンザニアにおけるAFICAT計画



## AFICATの拠点 (KATC/ローアモシ灌漑地区)

Innovation Center (candidates)

- Kilimanjaro Agricultural Training Center (KATC)

Innovation Lab (candidates)

- KATC
- Center for Agricultural Mechanization and Rural Technology (CAMARTEC)

Demonstration Area (candidates)

- Lowe Moshi Irrigation Scheme

Demonstration Area (post-harvest processing) (candidate)

- Rice miller



# 3) タンザニアにおけるAFICAT計画



## AFICATの拠点 (KATC/ローアモシ灌漑地区) からの広がり

Innovation Center (candidates)

- Kilimanjaro Agricultural Training Center (KATC)

Innovation Lab (candidates)

- KATC
- Center for Agricultural Mechanization and Rural Technology (CAMARTEC)
- Sokoine University of Agriculture
- TARI Dakawa etc.



Demonstration Area (candidates)

- Lowe Moshi Irrigation Scheme (IS)
- Mombo IS
- Bagamoyo IS
- Irrigation Schemes in Mbeya (Uturo, Ipatagwa, etc.)
- Lake Zone (e.g. MATI Ukirugru)
- MATI Mlingano

Demonstration Area (post-harvest processing) (candidate)

- Rice miller
- Other government facilities

# ご清聴ありがとうございました。

お気軽にご連絡ください。

(株) かいほつマネジメント・コンサルティング  
お問い合わせ窓口

tel: 03-5791-5083

高梨 直季 takanashi.naoki@kmcinc.co.jp

脇田 絵美 wakita.emi@kmcinc.co.jp

小林 三恵 kobayashi.mie@kmcinc.co.jp